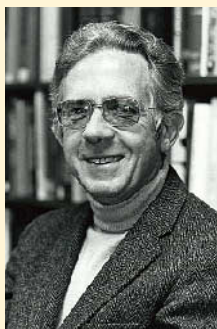


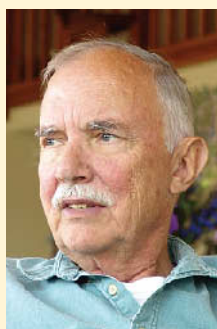
基調講演者のプロフィール(発表順)



ネイサン・ローゼンバーグ

(米スタンフォード大学 経済学名誉教授、スタンフォード経済政策研究所シニアフェロー)

- 米ラトガー大学よりA.B.、ウィスコンシン州立大学よりPh.D.。ランド大学、ポローニャ大学より名誉博士号
- 米ペンシルバニア州立大学、パーデュー大学、ハーバード大学、ウィスコンシン州立大学、英ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、ケンブリッジ大学のファカルティーメンバー
- スタンフォード大学経済学部Chair。National Bureau of Economic Researchのボードメンバー。Canadian Institute of Advanced Research, the American Academy of Arts and Sciences, Swedish Royal Academy of Engineering Sciencesのフェロー。その技術史における貢献でレオナルド・ダ・ヴィンチ賞受賞
- 専門は、技術経済(史)、科学と技術間の相互作用、技術変化の決定要因、Economic Institutionとしての大学
- "Schumpeter and the Endogeneity of Technology", "Paths of Innovation", "Exploring the Black Box", "Inside the Black Box", "How the West Grew Rich" など著書多数



ルイス・M・ブランズコム

(米ハーバード大学John F. Kennedy 公共政策大学院 公共政策学・企業経営学名誉教授)

- 米デューク大学より物理学A.B.、ハーバード大学より物理学修士、同Ph.D.。ロチェスター大学、コロラド州立大学、ラトガー大学などより名誉博士号
- ハーバード大学John F. Kennedy 公共政策大学院教授、同科学技術公共政策プログラムディレクター。
- National Institute of Standards and Technologyディレクター。IBM社ヴァイス・プレジデント兼チーフサイエンティスト。National Science Boardチェアマン、National Academy's project on Science and Technology for Countering Terrorismコーチャ、レーガン政権内国家生産性諮問委員会委員などを歴任
- "Industrializing Knowledge, Taking Risks: How Innovators, Executives, and Investors Manage High Tech Risks" など専門である技術政策および初期におけるハイテク・イノベーションに関する著書多数
- 「ダーウィンの海」の概念の提唱者



藤井照穂

(マイクロソフト プロダクト ディベロップメント リミテッド: プレジデント)

- 東京大学計数工学科卒業。スタンフォード大学 Master of Computer Science
- 1977年川崎製鉄所(株) 技術研究所入社。イーエスアール(株) 勤務
- 1986年マイクロソフト株式会社入社。研究開発部長、第一研究開発部部長、第一研究開発本部長、取締役第一研究開発本部本部長、常務取締役研究開発部門担当を経て、1999年より現職
- 専門は画像処理システム開発。画像処理、コンピュータグラフィックス、ワークステーション関連技術開発の経験を活かした研究開発マネジメントに従事
- 東アジア地域のソフトウェア研究開発を統括



ジェームズ・C・アベグレン

(グロービス経営大学院名誉学長 兼 教授、アジア・アドバイザー・サービス会長)

- 米シカゴ大学よりPh.D.
- 米シカゴ大学およびMITのファカルティーメンバー。上智大学比較文化学部国際ビジネス教授。同大学大学院プログラムチェア
- マッキンゼー、BCG:ポストンコンサルティンググループ経営コンサルタント(創業者の一人)。BCG初代東京支社長
- 「終身雇用(=Lifetime Commitment)」という慣行・概念の最初の提唱者
- 著書は、日本的経営の古典となった「日本の経営」、「新日本の経営」、「Sea Change: Pacific Asia as the New World Industrial Center」、「Kaisha, the Japanese Corporation」など多数
- Learning Technologies, Japan Fund, Japan Venture of Scientific American ボードメンバー。Newsweek誌で、America's 25 top Asia handsに選ばれる



下村満子

(経済同友会 副代表幹事、健康事業総合財団【東京顕微鏡院】理事長、ジャーナリスト、元「朝日ジャーナル」編集長)

- 慶應義塾大学経済学部卒業。ニューヨーク大学大学院修士課程修了
- 1965年朝日新聞社入社。朝日新聞ニューヨーク特派員、ハーバード大学ニーマン特別研究員を経験の後、「朝日ジャーナル」編集長、朝日新聞編集委員などを経て1994年退社。現職に至る
- 専門は、ジャーナリスト時代の欧米・中近東・中・露等、世界各国を股にかけた活動を活かしたジャーナリズム論・国際関係問題の他、女性問題、教育問題など
- 国際報道に貢献した記者に与えられるボーン・上田国際記者賞を女性としてはじめて受賞した他、日本翻訳出版文化賞受賞(1987)。経済同友会副代表幹事、(財)日本国際医療団理事他多数の役職を兼任
- 著作多数。共著に「Made in Japan」

講演者のプロフィール(発表順)



渡辺 千仞 (東京工業大学 経営工学 教授、SIMOT拠点リーダー)

- 東京大学工学部都市工学科卒業。東京大学より博士(学術)
- 通産省工業技術院技術審議官、国際応用システム分析研究所 (IIASA) 技術顧問、東工大評議員
- 専門は技術システム論。著書、共著に「技術革新の計量分析」、「技術経済論」など



アラン - マーク・リュウ (仏リヨン大学哲学部教授、東京大学経済学部客員教授)

- 仏パリ大学より人文科学の領域で博士号取得
- Haute-Alsace大学准教授、Strasbourg大学教授を経て現職
- 専門は、大陸哲学・認識論。科学研究。高度産業社会の組織および知識の位置。近代化理論



宮崎久美子 (東京工業大学 イノベーションマネジメント研究科 教授)

- オックスフォード大学物理学部卒業。ケンブリッジ大修士・INSEAD MBAを経て、サセックス大学科学技術政策研究所 (SPRU) Ph. D.
- 日・英・加の企業経験の後、東工大社会理工助教授、工学部教授 (2001) を経て現職
- 専門は技術戦略。政府審議会等で積極的に提言 (情報通信審議会、航空機工業審議会、産業構造審議会、科学技術学術審議会)



山崎正勝 (東京工業大学 経営工学 教授)

- 東工大理工学部物理学卒業。東工大理工学研究科理学博士
- 三重大学教育学部助教授、東工大工学部助教授を経て現職
- 専門は科学史。産経児童出版文化賞 (1996) を受賞



チャーラー・グリフィー - ブラウン (米ペッパーダイン大学グラジアディオ経営大学院 准教授)

- 米ハーバード大学BA、オーストラリア、クイーンズランドのギリフィス大学より技術経営、科学技術政策分野でPh.D.
- この間、科学振興技術機構より支援。フルフライト奨学制度により名古屋大学および宇宙開発事業団に留学
- 東工大経営工学助教授 (2002・2003)。技術移転・技術開発コンサルタントとして国際的に活躍



佐伯とも子 (東京工業大学 イノベーションマネジメント研究科 教授)

- 大阪大学薬学研究科応用薬学修士課程修了。薬学修士
- 特許庁医療審査長、ファンケル知財部知財部長を経て、2002年東工大社会理工学研究科教授に就任。2005年より現職
- 専門は知的財産基盤



蜂谷豊彦 (東京工業大学 経営工学 助教授)

- 一橋大学経済学部経済学卒業。一橋大学大学院商学研究科会計学および経営学博士課程終了。学術博士
- 三菱総合研究所勤務後、東工大工学部経営システム工学助手、青山学院大学経営学部助教授を経て現職
- 専門は企業評価、企業財務論など



宮川雅巳 (東京工業大学 経営工学 教授)

- 東工大工学部経営工学科卒業。東工大理工学研究科 工学博士
- 東京理科大学助教授、東京大学助教授、東工大助教授を経て現職
- 専門は応用統計学。日本品質管理学会最優秀論文賞 (2004) をはじめ、品質管理分野で研究賞を多数受賞



伊藤謙治 (東京工業大学 経営工学 教授)

- 東工大工学部経営工学科卒業 工学博士
- 日立製作所での企業経験の後、東工大助手、東工大助教授を経て現職
- 専門は人間工学



比嘉邦彦 (東京工業大学 イノベーションマネジメント研究科 教授)

- 米国州立アリゾナ大学経営情報システム専攻卒業 Ph.D.
- 州立ジョージア工科大学 (米) 助教授、香港科学技術大学助教授を経て、東工大社会理工・理財工学研究センター教授の後、現職
- 専門は技術情報基盤。日本テレワーク学会の代表幹事の他、テレワーク関係省庁の各種委員会の委員および委員長を歴任



圓川隆夫 (東京工業大学 経営工学 教授、イノベーションマネジメント研究科長、SIMOT拠点サブリーダー)

- 東工大工学部経営工学専攻卒業。工学博士
- 東工大助手・助教授を経て現職。その間、運輸政策審議会情報部会長、同大学評議員、社会理工学研究科長等を歴任
- 専門はSCM・品質管理。現在、国土交通省交通政策審議会、同社会資本整備審議会、財務省関税審議会の委員等を兼務



飯島淳一 (東京工業大学 経営工学 教授)

- 東工大工学部制御工学卒業。東工大大学院総合理工学研究科 工学博士
- 東工大助手・助教授を経て現職
- 専門は情報システム学。経営情報学会システム統合特設研究部会主査などを歴任



妹尾大 (東京工業大学 経営工学 助教授)

- 一橋大学社会学部卒業。一橋大学商学研究科 博士 (商学)
- 北陸先端科学技術大学院大学助手を経て、現職
- 専門は経営学。経営情報学会・電子情報通信学会・組織学会等のレフェリー等の学会活動を実施



平野雅章 (東京工業大学 SIMOT特任教授、早稲田大学経営専門職大学院 教授)

- 東工大工学部 (経営工学) 卒業。東工大大学院総合理工学研究科 (システム科学専攻) 工学博士。ロンドン大学経済学BSc
- 早稲田大学システム科学研究所およびビジネススクール助手、助教授を経て、現職
- 専門は経営情報学、経営戦略論、組織論、国際経営。INSEADおよびHECの客員教授、政府委員会等の主査・委員を歴任。経営情報学会会長 (2004-06)



増田達夫 (元石油公団理事、元国際エネルギー機関 (IEA) 石油市場・緊急時局長、東京工業大学 SIMOT特任教授)

- 慶応義塾大学法学士、ケンブリッジ大学歴史学部文士
- 外務省欧亜局、アジア局を経て、通産省資源エネルギー庁石油企画官、日本貿易振興企画部長等を歴任
- 専門は国際地政学。アジア太平洋エネルギー研究センター所長、ダボス会議タスクフォースメンバーを兼任



保々雅世 (マイクロソフト ビジネスソリューション本部 業務執行役員本部長、東京工業大学 SIMOT特任教授)

- 米国カーネギーメロン大学経営大学院よりMBA。東工大大学院社会理工学研究科経営工学専攻 博士(学術)
- IBM、SAPジャパン ディレクターを経て、ヴェリアネット・ジャパン社長、2004年より現職
- 専門は、情報技術の革新的活用、ERP等のパッケージソフトにおける開発戦略、情報技術主導ビジネスモデルの国際比較など



菊池隆 (東京工業大学 SIMOT専任特任教授)

- 東京大学文学部西洋史学科卒。スタンフォード大学より経営学修士 (MBA)
- (現) 商船三井、A.T.カーニー等を経て現職。経営企画業務・経営コンサルティング業務経験豊富。専門は、無形財産論、ブランド論、経営戦略論
- 経済誌等へ寄稿多数。著書に「ロジカル・ブランディング: 技術・無形財産から照射するBRAND」

